

第202回イタリア映画鑑賞会

～100名様無料ご招待／要事前申込～

福岡日伊協会が定期的で開催している「イタリア映画鑑賞会」は、お陰様で今年8月に200回を数えました。

200回記念として、次回の第202回は土曜日の午後に開催し、過去の上映作品の中でも約3時間の最長編である『甘い生活』を再上映します。

鑑賞ご希望の方は、別紙の注意事項をご確認のうえお申込みください。

- 日 時： 2022年12月3日(土)13:00開場／13:30開演(17:00頃終演予定)
※途中10分間の休憩があります。
- 会 場： あじびホール
(福岡市博多区下川端町3-1 福岡アジア美術館8階 / TEL 092-263-1100)
- 入 場 料： 無料／100名様ご招待(要招待券)
- 申込方法： 別紙申込書に必要事項を記載のうえ、FAXまたはメールでお申込み下さい。
- 申込締切： 2022年11月11日(金)必着
※応募多数の場合は抽選とし、招待券の発送をもって発表とさせていただきます。

第202回上映作品

『LA DOLCE VITA 甘い生活』

(1960年174分 イタリア語/日本語字幕)

監督 / フェデリコ・フェリーニ
脚本 / フェデリコ・フェリーニ、トゥリオ・ピネッリ、ブルネッロ・ロンディ
撮影 / オットロ・マルテッリ
音楽 / ニーノ・ロータ
美術・衣装 / ピエロ・ゲラルディ
編集 / レオ・カッタッツォ
制作 / ジュゼッペ・アマート、アンジェロ・リッツオーリ
出演 / マルチェロ・マストロヤンニ、アニタ・エクバーグ、アヌク・エーメ、
イヴォンヌ・フェルノー、アラン・キューニー

2004年8月と9月に前後編で『甘い生活』を上演したら、前編の日は台風で、数人の人が来てくれたので上映しましたが、残念ながら観ることができなかった方がかなりいたので、リベンジ3時間弱上映会を執行します。

1960年のこの作品の前まで、フェリーニ監督が描いていたのは、『道』(1954)や『崖』(1955)、『カピリアの夜』(1957)など。彼の奥様ジュリエッタ・マシーナを主演に、大道芸人、ペテン師、娼婦などの底辺で生きる人々の貧しさや悲哀を、監督のユーモアを交えて観せてくれました。しかし、この作品では、イタリア映画が戦後辿ったネオレアリズモから始まり、バラ色の高度経済成長時代の後に陥った上流社会の狂乱と頹廃をみごとに諷刺し、新しきフェリーニ映画を誕生させます。

その狂言廻しの主役に初めてマルチェロ・マストロヤンニや、アニタ・エクバーグ、アヌク・エーメと美人も登場。

田舎育ちのゴシップ記者マルチェロの眼を通して、ローマの上流社会、俳優、貴族の何不自由ない“甘い生活”の中で生きる目的を失った人々、郊外の聖母を見た兄妹を取り巻く野次馬と取材人、田舎から出て来た父親との交流や尊敬する先輩の話などのエピソード等が続く為、一寸長いですが、お楽しみ下さい。
(解説 湯越 勘一)

